

# 人文学報

No. 517-9

## 歴史学・考古学（第49号）

- 紀伊国阿豆河荘とその史料（後篇）——建治相論の再検討——  
付 阿豆河荘関係史料目録（二）…………… 伊藤哲平・鎌倉佐保 1
- 明治農業史と農学士  
——明治時代前半期における農政史の考察…………… 國 雄行 33
- 歴史・考古学研究室 彙報（2020年1月～12月）…………… 74(67)
- 『大遷移——後期中世世界における気候・疫病・社会』より第1章  
…………… ブルース・M・S・キャンベル  
東京都立大学西洋中近世史ゼミ 112(29)
- ローマ帝国におけるインド洋交易の位置づけ  
——古代世界における東方交易の経済的・財政的重要性——  
…………… ラウル・マクラフリン 高橋亮介・赤松秀佑 140(1)

東京都立大学 人文科学研究科

2021年3月

# 歴史・考古学研究室 彙報 (2020年1月～12月)

## 教室行事日程

- 1月10日 修士論文提出日  
1月14日 卒業論文提出日  
2月5日 卒業論文口頭試問  
2月6日 修士論文口頭試問  
2月18日・19日 2020年度大学院後期入試  
3月21日 卒業式（コロナにより学位授与式のみ実施）  
5月9日 新2年生ガイダンス、大学院ガイダンス  
7月11日 4年生 第1回卒業論文中間報告会  
(9月23日・24日 2020年度大学院前期入試)  
10月17日 4年生 第2回卒業論文中間報告会  
10月29日 3年生 卒業論文ガイダンス  
11月28日 3年生 卒業論文構想発表会

## 修士論文

清水 悠太 「極東共和国憲法制定会議選挙とロシア共産党権力の確立過程」

## 卒業論文

大塚 拓海 「足利義政の乳父烏丸資任について」  
中村 衣梨香 「近世編纂家譜『伊達治家記録』における伊達政宗の記述」  
原 涼太 「真田氏・上杉氏的外交関係」  
駒野 共紀 「帝政初期の北アフリカ地域におけるローマ皇帝礼拝の特色」

- 飯島 千陽 「犬養毅の支持団体「木堂会」からみる青年教育とその実現」  
照沼 庸行 「労働組合法案をめぐる関係諸団体の動向と論理」  
永山 勇輝 「後北条氏一門北条氏照の外交における役割」  
南 幸希 「京都市における「不良住宅地区」での在日朝鮮人社会形成  
について」  
横谷 綾子 「コジモ1世の結婚祝祭における政治的メッセージ」  
大野 晃生 「武将・畠山国清の動向から捉える観応の擾乱」  
伊藤 諒太 「『書簡集』から考察する司教シドニウスと5世紀ガリアの聖  
職者ネットワークについて」  
廣瀬 撫子 「人物埴輪顔面装飾の分布について」  
邱 冠禎 「国際関係から大伴古麻呂の争長事件をみる」  
西野 光輔 「二十四人衆時代のシエナ大聖堂建築事業における都市政府  
と工房」  
佐藤 晃太郎 「フリードリヒ2世統治下のシチリア王国におけるムスリム  
移住地」  
江草 俊作 「後期旧石器時代におけるオーカーの生産についての研究」  
日高 徳正 「新羅仏教伝来伝説記事の相互関係について」  
松本 晃介 「11世紀後半から12世紀初高麗の年号使用例から見る対外姿勢」  
村川 開 「都市の戦災復興過程における商業圏の形成」  
千葉 恭平 「戦国期南奥羽における「中人制」秩序の終焉と伊達政宗」  
向山 愛夏 「日本中世期における異性装」  
中原 理歩 「西大寺と秋篠寺の相論絵図が裁判で果たした機能」  
南 侑伽 「京都大番役からみる鎌倉時代中期の朝幕関係」  
朝賀 亮介 「ノルマンディ憲章に見る中世フランスの地方主義」  
木下 恵大 「フルシチョフと処女地開拓」  
神谷 優里恵 「ヴィクトリア朝期におけるイギリス帝国とインド人エリート」  
櫻井 南穂 「近代ドイツにおけるテヒニッシュェ・ホホシューレの成立と  
昇格運動」  
古屋 夏鈴 「藤村紫朗の地方官意識の形成過程と山梨県政」  
高田 大地 「戦時海運統制下における民間船舶会社のイニシアチブ」  
安藤 彰浩 「第二帝政期におけるパリ都市改造事業とその影響」

- 宮澤 和気 「土佐一条氏の伊予侵攻の意味について」  
青木 優幸 「治承・寿永内乱における源頼朝と伊勢神宮との関係の変遷」  
芝 綸 「得宗専制確立過程の中の北条時頼」

## 教員業績一覧（2020年1月～12月）

### 赤羽目 匡由

#### 【単著・共著】

1. (共著) 鄭京日の 지음・이인재 엮음 『경계를 넘어서는 고구려・발해사 연구』 혜안、2020年10月

#### 【学会発表】

1. 「中国皇帝のかさのもとで—渤海王の官爵利用—」、九州大学韓国研究センター定例研究会「韓国前近代の国際関係—その構図・特質への視座—」、2020年2月
2. 「渤海の地方制度の概観—近年の研究成果を踏まえて—」、第5回 金毓黻と東北アジア史研究会、2020年9月
3. 「則天武后末期の東方情勢に関する一問題—渤海における則天武后の影響と残像—」、2020年度 唐代史研究会秋期シンポジウム、2020年11月

#### 【学会活動】

- メトロポリタン史学会委員  
遼金西夏史研究会幹事  
日本歴史学協会若手研究者問題特別委員会委嘱委員

### 出穂 雅実

#### 【単著・共著】

(共編著)

1. Recent Progress of the Paleolithic Research in Asia: Cultural diversities and Paleoenvironmental changes (*Quaternary International* 535、2020年1月)

## 【論文】

(共著)

1. A Circum-Pacific Perspective on the Origin of Stemmed Points in North America (*PaleoAmerica* 6 (1)、2020年1月)
2. 第一節 遠軽町タチカルシュナイ遺跡 M-I 地点の地形と層序 (『東京大学常呂実習施設研究報告第16集』、2020年3月)
3. 第三節 北海道紋別郡遠軽町タチカルシュナイ遺跡 M-I 地点の黒曜石遺物の蛍光X線分析 (『東京大学常呂実習施設研究報告第16集』、2020年3月)
4. Of the sea and volcano: A petrographic provenance investigation of locally produced and imported ware of Pre-Younger Dryas Tanegashima Island, Japan (*Quaternary International*、2020年10月)

## 【学会発表】

(共著)

1. 北東アジアにおける現生人類拡散プロセスのいくつかの問題：最初のアメリカ人に関する研究の進展から (パレオアジア文化史学第9回研究大会、2020年5月)
2. 上部旧石器時代のモンゴルおよびザバイカルにおける環境変化と人類の適応行動：研究の現状と課題 (パレオアジア文化史学第10回研究大会、2020年12月)
3. 立谷川河床 (山形県・天童市) に現れた最終氷期最盛期の埋没林 (日本第四紀学会2020年大会、2020年12月)

## 【学会活動】

国際第四紀学連合、生物・人類圏コミッション (INQUA HABCOM) 副委員長  
国際第四紀学連合国際評議委員会日本代表委員  
日本学術会議連携会員  
日本第四紀学会評議委員  
アジア旧石器協会 (Asian Palaeolithic Association) 幹事  
日本旧石器学会渉外委員長

## 【学外での委員等】

Archaeological Research in Asia (Elsevier) 編集委員  
Quaternary International (Elsevier) 特集号招待編集委員長

Paleoamerica (Maney Publishing) 連携編集委員

ロシア・ザバイカル国立大学人文学部紀要 Gumanitarnuii Bektor 連携編集委員

## 岩瀬 彬

### 【論文】

1. 「タチカルシュナイ遺跡 M-I 地点出土資料の石器使用痕分析」(『日本列島北部における新石器型狩猟採集社会の形成過程—タチカルシュナイ遺跡 M-I 地点の研究—』東京大学常呂実習施設研究報告第16集、2020年3月)
2. 「東京都前田耕地遺跡から出土した動物遺存体の再検討」(『旧石器研究』第16号、日本旧石器学会、2020年5月)
3. 「峠下型1類・美利河型細石刃核を伴う石器群の使用痕分析—LGM 細石刃石器群の石器使用の一事例—」(『石器痕跡研究の理論と実践』同成社、2020年10月)
4. 「杉並区向ノ原遺跡出土の旧石器時代資料を対象とした石器使用痕分析」『向ノ原遺跡第3次調査』東京都埋蔵文化財センター調査報告第358集、2020年10月)

### 【学会発表】

1. 「東京都前田耕地遺跡における縄文時代草創期の居住史—第17号住居跡の空間分析を通じて—」日本考古学協会第86回総会研究発表要旨(誌上発表)

### 【学会活動】

日本旧石器学会 総務委員 (2020年7月まで)

### 【講演等】

東京都埋蔵文化財センター文化財講座「石器のキズと旧石器時代の生活：最終氷期最盛期の日本列島」、東京都埋蔵文化財センター、2020年9月26日

## 大貫 俊夫

### 【単著・共著】

1. (共著) 金澤周作他編『論点・西洋史学』、ミネルヴァ書房、2020年(担当:「中世修道会」88-89頁)

2. (共著) 石田勇治編『ドイツ文化事典』、丸善出版、2020年(担当:「ドイツ地域の中世」78-79頁、「修道院」80-81頁)

### 【その他】

1. 「中世ペストのもたらしたもの」(『しんぶん赤旗』2020年9月8日)
2. 「トリア留学とヨーロッパ中世史研究」(『ECHO』第36号48-51頁)

### 【学会発表】

1. 「盛期中世におけるシトー会修道院とインエクレスイアメント」公開研究会「西洋中世における共同体—インエクレスイアメント論の視点から—」、2020年2月15日
2. 「観想修道院と「暴力」—懲罰としての鞭打ちを中心に—」科学研究費補助金基盤研究(B)「中近世キリスト教世界における宗教と暴力—対立と和解のポリティクス—」研究会、2020年8月26日
3. 「シトー会における歴史叙述と典礼—研究の方針を中心に—」学術変革領域研究(B)A01班「観想修道院による「典礼空間」の形成に関する総合的研究」研究会、2020年12月15日

### 【学会活動】

西洋中世学会 常任委員、事務局次長、研究会・講演会組織委員長  
メトロポリタン史学会 委員

## 鎌倉 佐保

### 【単著・共著】

1. (共著)『新編立川市史 資料編古代・中世』、2020年

### 【論文】

1. 「日本における武士の発生・武家政権の成立と荘園制」『メトロポリタン史学』15号、2019年12月

### 【学外での委員等】

立川市史編集委員・古代中世史部会長  
八王子市博物館協議会会長  
多摩市文化財審議委員副会長  
埼玉県立博物館資料評価委員

## 國 雄行

### 【単著・共著】

1. (共著) 鈴木健一編『明治の教養—変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉』勉誠出版、2020年(第Ⅲ章の「内国勸業博覧会と和・漢・洋—本草学と博覧会」執筆)

### 【論文】

1. 「農商務省初期の勸業諸会にみる農政」『人文学報』516-9、歴史学・考古学編48、首都大学東京人文科学研究科、2020年3月

### 【その他】

(本の紹介)「パルテノン多摩編『刀鍛冶と文明開化』」(『多摩のあゆみ』178、たましん地域文化財団、2020年6月)

### 【学外での委員等】

新宿区文化財保護審議会委員

## 高橋 亮介

### 【単著・共著】

1. (共著) 金澤周作他編『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房、2020年(担当:「古代ローマの家族とセクシュアリティ」)

### 【論文】

1. (共著) ‘Epigraphical Survey in the New Minya Quarry’, (*Akoris 2019: Preliminary Report*, 2020)

### 【その他】

1. (日本語版監修) ファッティ・バーク『歴史たんけん トムをみつけよう 古代ローマ』BL出版、2020年

### 【学会発表】

1. ‘Economic Interactions of Families in Second-century AD Tebtunis’, Workshop: Environment and Economy in Premodern Egypt and Beyond, 2020年2月
2. 「ローマ期エジプトにおける家族とジェンダーをめぐる諸問題: 近年の動向と課題、血統意識の形成をめぐる」上智大学史学会第70回大会、2020年11月
3. (共著) 「2019年度ニュー・メニア採石場調査」アコリス考古学プロジェ

クト2020公開シンポジウム：エジプト領域部研究の新展開、2020年12月

**【学会活動】**

古代世界研究会代表、史学会編集委員、メトロポリタン史学会委員

**【講演等】**

1. 「古代ローマ帝国とエジプト文明」、東京都立大学オープンユニバーシティ、2020年11月17日

**巽 昌子**

**【学会発表】**

1. 「日本中世の処分状と付法状の比較検討」、令和元年度育志賞研究発表会、2020年3月

**【学外での委員等】**

1. 東京大学 史料編纂所 特任研究員
2. お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所 客員研究員
3. お茶の水女子大学『人間文化創成科学論叢』外部審査委員

**谷口 央**

**【論文】**

1. 「伊豆大島の災害と死者数の関係—近世期過去帳の統計紹介—」『災害・復興と資料』第12号、2020年3月

**【その他】**

1. 1944・5年東南海地震・三河地震における安城市域での状況把握（『2020年歴史地震史料研究会講演要旨集』、2020年11月）

**【学会発表】**

1. 1944・5年東南海地震・三河地震における安城市域での状況把握（歴史地震史料研究会、2020年11月）

**【学会活動】**

戦国織豊期研究会代表

## 中嶋 毅

### 【論文】

1. 「ハルビンにおけるロシア人学校教育の発展 1898-1922」(『人文学報』、東京都立大学人文社会学部、第516-9号、2020年3月)

### 【読書案内】

1. 「溪内謙『現代社会主義の省察』—スターリン体制解明の見取図」(『歴史評論』、第840号、2020年4月)

### 【書評】

1. 「エルヴィン・ナギ著(野中進訳)『革命記念日に生まれて—子どもの目で見えた日本、ソ連』(東洋書店新社、2020年)」(『産経新聞』、2020年9月6日)

### 【学会活動】

メトロポリタン史学会監事  
公益財団法人史学会理事

### 【講演等】

1. NHK高校講座「世界史」、NHK教育テレビ、23回、31回、35回

## 福士 由紀

### 【論文】

1. 「環境・感染症・公衆衛生：新型コロナウイルス感染症と中国の医療社会史研究」歴史学研究会編『コロナ時代の歴史学』績文堂、2020年12月
2. 「感染症をめぐる中国近現代史研究」『歴史学研究』1003号、2020年12月

### 【書評】

1. 「小浜正子著『一人っ子政策と中国社会』」『中国研究月報』74巻12号、2020年12月

### 【その他】

1. 「異なる医療文化の出会い：脈診は片腕だけじゃダメでした」吉野晃監修、岩野邦康ほか編『ダメになる人類学』北樹出版、2020年3月。
2. 章百家(福士由紀訳)「長期にわたって積み重ね、機をとらえて事を為す：人民共和国の対日政策と日中関係の正常化」波多野澄雄・中村元哉編『日中の「戦後」とは何であったか』中央公論新社、2020年10月

### 【学会発表】

1. 「中国の感染症とナショナリズム」WINE 緊急オンライン対談「新型コロナウイルス感染症と国民国家／ナショナリズム」（Zoom ウェビナー）、早稲田大学ナショナリズム・エスニシティ研究所、2020年6月27日。

### 【学会活動】

メトロポリタン史学会委員

## 前田 弘毅

### 【学会発表】

1. “A Note of Aleksandre Orbeliani on King Erekle II and Nadir Shah”, *International Conference Archival Studies, Source Studies – Trends and Challenges*, National Archives of Georgia, 25 September 2020.
2. 「二人のサアカゼ：グルジア人豪族とサファヴィー朝ゴラームとその間」前近代ユーラシア世界における広域諸帝国の総合的研究研究会、2020年11月
3. “A Date on the Ascension of King Teimuraz I and its Surroundings from the Description of *Tarikh-e ‘Abbasi*”, *International Conference The Middle East and Caucasus. Culture, History, Politics Dedicated to the 60th Anniversary of the Foundation of the G. Tsereteli Institute of Oriental Studies*, Ilia State University, 18 December 2020.

### 【学会活動】

メトロポリタン史学会委員

ユーラシア研究編集委員

### 【講演等】

1. ユーラシア地誌の会・日本ユーラシア協会城東支部「コーカサスはどうなっているのか」2020年12月20日

### 【学外での委員等】

Visiting Fellow, Near Eastern Studies, Princeton University (October 2019-March 2020)

## 源川 真希

### 【単著・共著】

1. (単著)『首都改造 東京の再開発と都市政治』吉川弘文館、2020年

### 【学会活動】

歴史科学協議会『歴史評論』編集長

### 【学外での委員】

世田谷区史編さん委員

## 山田 康弘

### 【論文】

1. 「考古学史と社会背景」『季刊考古学』第150号, 2020年2月。
2. 「人骨と葬墓祭制からみる社会」『季刊考古学・別冊 縄文文化と学際研究のいま』第31号, 2020年2月。
3. 「出土人骨の年代測定値に基づく津雲貝塚人の社会の再検討」安東康宏他編『津雲貝塚総合調査報告書』笠岡市教育委員会, 2020年3月(日下宗一郎・米田穰と共著)。
4. 「洞窟遺跡の墓制」水ノ江和同編『季刊考古学』第151号, 2020年4月。
5. 中峠遺跡第8次調査第1号住居址内における人骨の出土状況について『下総考古学』第25号, 2020年5月。
6. Takashi Gakuhari, Shigeki Nakagome, Yasuhiro Yamada, Hiroki Oota et al. Ancient Jomon genome sequence analysis sheds light on migration patterns of early East Asian populations *Communications Biology* 3, 1–10, 25 August 2020.

### 【その他】

1. 「再考「子抱き土偶」—東京都八王子市宮田遺跡出土土偶について—」『歴博』第218号, 2020年1月。
2. 「弥生時代の家族と社会—弥生時代前期の墓からみた人のつながり—」『第4回とっとり弥生の王国シンポジウム 倭人のつながり』鳥取県立むきばなた史跡公園, 2020年3月。
3. 少年写真新聞社『小学図書館ニュース』1203号, 2020年7月8日発行

### 【学会発表】

1. 「縄文時代におけるいわゆる「廃屋墓」をめぐる諸問題—姥山貝塚・加曾利北貝塚検出例を中心に—」『日本考古学協会第86回総会』、2020年5月23日（コロナ禍により紙上発表）。
2. 「岩手県蝦島貝塚および岡山県彦崎貝塚出土人骨の年代測定による墓域構造の検討」『第74回日本人類学会大会』（米田稔・平田和明・水嶋崇一郎と共同発表）2020年11月1日（コロナ禍によりオンライン開催）。

### 【学会活動】

日本考古学協会埋蔵文化財保護活用委員会副委員長  
日本人類学会編集委員会（日本語版）委員  
縄文時代文化研究会運営委員

### 【講演等】

1. 東村山ふるさと歴史館講演会「墓から見た縄文人の死生観」東村山市教育委員会，2020年1月25日
2. NHK 名古屋カルチャーセンター「縄文人の死生観」2020年1月26日，2月23日，6月28日，7月7日
3. 令和アカデミー倶楽部「縄文時代」2020年10月10日，11月14日，12月12日。
4. 早稲田大学エクステンションセンター「縄文時代を考える」2020年10月27日，11月10・17日，12月1・8日。
5. 東アジアの古代を考える会講演「墓制から見た縄文社会」2020年11月7日。
6. 静岡新聞社 SBS 講座「縄文時代の社会」2020年12月19日。

### 【学外での委員等】

八天遺跡保存活用計画等策定委員会 委員  
岩手県北上市教育委員会 委員長  
清水書院高校歴史教科書執筆委員

令和3年3月24日印刷  
令和3年3月31日発行 ©

「人文学報」 第517-9号

非売品

東京都八王子市南大沢1丁目1番地

編集・発行者

東京都立大学 人文科学研究科  
人文学報編集委員会

代表者 西郡仁朗

城島印刷株式会社  
福岡県福岡市中央区白金2-9-6

*Jim bun Gaku ho* No. 517-9

Not for Sale

Published

March 31, 2021 ©

by

Editorial Board of *Jim bun Gaku ho*

(Chief Editor Jiro Nishigori)

Tokyo Metropolitan University

Minami-Osawa 1-1

Hachioji City

Tokyo, Japan

---

Printed by

Kijima Co., Ltd.

2-9-6 Shirogane Chuo-ku, Fukuoka, Japan

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。  
再生紙を使用しています。

**R70**

古紙配合率 70%  
白色度 70% 再生紙を使用しています。

THE JOURNAL  
OF  
SOCIAL SCIENCES AND HUMANITIES  
*(JIMBUN GAKUHO)*

---

No. 517-9

History and Archaeology Vol. 49

A Study on the Ategawa Estate in Kii Province and its Historical Materials (part 2) ..... ITO Teppei & KAMAKURA Saho	1
Agricultural History and Agronomist in Meiji Era ..... KUNI Takeyuki	33
Current Reports .....	74(67)
The Great Transition: Climate, Disease and Society in the Late-Medieval World, 1. Chapter ..... Bruce M. S. CAMPBELL (translated by the Seminar of European Medieval and Early Modern History of Tokyo Metropolitan University)	112(29)
Indian Ocean commerce in Context: The Economic and Revenue Significance of Eastern Trade in the Ancient World .....	Raul John McLAUGHLIN (translated by TAKAHASHI Ryosuke and AKAMATSU Shusuke) 140(1)

The Graduate School of Humanities  
Tokyo Metropolitan University

March 2021